

令和6年度 基本方針

鹿児島県弓道連盟

○ はじめに

全弓連の方針に沿って実施し、開催方法は新型コロナウイルス感染症に対応した実施の形態とし、原則として従来の全事業を実施する。

昨年は、新型コロナウイルスまだ終息しない中、マスク着用、集合時間の制限、無観客の中、県内の主な大会や講習会、審査会を工夫しながら実施することができた。離島はビデオ審査も実施することができた。

このような状況の中であったが、燃ゆる感動かごしま国体を全員協力のもと無事開催することができ、感謝の念に堪えません。

成果として、男女総合優勝、女子総合優勝、優秀地連表彰、特別功労者賞を獲得することができた。

種別では、成年男子の遠的1位、少年女子の遠的1位をはじめ、全日本弓道女子選手権の皇后杯獲得、高校生の全国大会個人2位、国体団体2位等多くの成果を修めることができた。

今年は、真摯な態度を引き継ぎ、このような成果からさらに会員の技術力、競技力の向上を図ることが重要であると考えます。

会員の皆様のご協力とご助力をお願いし、大会等を開催したいと思う。

○ 令和6年度の重点事項

- 1 会員相互の融和と親睦を図るとともに、支部・県弓道連盟の活性化に努める。
- 2 「かごしま国体」の成果を活かし、県内各種大会・佐賀国スポをはじめ、九州、全国大会への参加と、会員の意識向上と技術の向上に努める。
- 3 会員の技術向上には、基本に徹する体配・射技射法の修練が重要である。
そのため、審査会・講習会・大会への参加を奨励するとともに会員が自らを高める稽古に専心する気運を醸成するとともに、支部、職場、学校等互いに切磋琢磨する弓道修練を推奨する。
- 4 底辺拡大と会員の確保のため、初心者弓道教室等の開催や経験者の発掘を図るなど、受け入れ体制の充実、拡充に支援を行う。
また、学生・生徒の弓道人口の充実も重要であることから、大会の運営や支援の充実に努める
- 5 コンプライアンス（法令遵守）の徹底、暴力、ハラスメントの根絶、矢羽の使用に関する準則の遵守ならびにアンチドーピングの徹底を図る。